

○令和4年度教育事業「ボランティアセミナー in 岩見沢」(R4.6.9(木)日帰り)
 「ボランティアセミナー in 札幌」(R4.6.26(日)日帰り)

令和4年度 国立大雪青少年交流の家教育事業 開催要項											
ボランティアセミナー in 岩見沢											
1 趣 旨	大学において学んでいることを踏まえ、青少年教育施設でボランティア活動を行う上で必要な知識や技術を学ぶとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める機会とする。										
2 主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家										
3 後 援	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家 北海道教育委員会 北海道高等学校長会 北海道高等学校長協会										
4 期 日	令和4年6月9日(木)日帰り										
5 会 場	北見大学										
6 対 象	条件を満たしている北見大学の学生 条件:「野外教育論」及び「野外教育実習」を履修した学生										
7 定 員	10名程度										
8 参加費	無料										
9 日 程	11:00 12:00 13:00 14:00 15:30 16:30 10:50集合 各自昼食 講義① 講義② 説明② 16:30解散										
10 プログラム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>説明①【青少年教育施設におけるボランティア活動】 「道内国立青少年教育施設のボランティア活動の実態」</td> <td>道内の国立2施設(大雪青少年交流の家・日高青少年自然の家)でのボランティア活動について説明します。</td> </tr> <tr> <td>講義①【青少年教育施設の現状と運営】 青少年教育施設の現状と運営</td> <td>青少年教育施設の教育機能や役割、運営について理解します。</td> </tr> <tr> <td>講義②【ボランティア活動の意義】 ボランティア活動の意義と心構え</td> <td>ボランティア活動の意義について理解するとともに、活動時の心構えや留意点を学びます。</td> </tr> <tr> <td>説明②【青少年教育施設におけるボランティア活動】 「法人ボランティア」の制度について</td> <td>国立青少年教育振興機構で実施している「法人ボランティア」登録制度について説明をします。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容	説明①【青少年教育施設におけるボランティア活動】 「道内国立青少年教育施設のボランティア活動の実態」	道内の国立2施設(大雪青少年交流の家・日高青少年自然の家)でのボランティア活動について説明します。	講義①【青少年教育施設の現状と運営】 青少年教育施設の現状と運営	青少年教育施設の教育機能や役割、運営について理解します。	講義②【ボランティア活動の意義】 ボランティア活動の意義と心構え	ボランティア活動の意義について理解するとともに、活動時の心構えや留意点を学びます。	説明②【青少年教育施設におけるボランティア活動】 「法人ボランティア」の制度について	国立青少年教育振興機構で実施している「法人ボランティア」登録制度について説明をします。
項目	内 容										
説明①【青少年教育施設におけるボランティア活動】 「道内国立青少年教育施設のボランティア活動の実態」	道内の国立2施設(大雪青少年交流の家・日高青少年自然の家)でのボランティア活動について説明します。										
講義①【青少年教育施設の現状と運営】 青少年教育施設の現状と運営	青少年教育施設の教育機能や役割、運営について理解します。										
講義②【ボランティア活動の意義】 ボランティア活動の意義と心構え	ボランティア活動の意義について理解するとともに、活動時の心構えや留意点を学びます。										
説明②【青少年教育施設におけるボランティア活動】 「法人ボランティア」の制度について	国立青少年教育振興機構で実施している「法人ボランティア」登録制度について説明をします。										
11 申込方法	大学の担当教官にお申し出ください。										

◆目的

大学において学んでいることを踏まえ、青少年教育施設でボランティア活動を行う上で必要な知識や技術を学ぶとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める機会とする。

◆参加実績(定員各10名程度)

参加 22名

内訳 7名(in 岩見沢)

15名(in 札幌)

◆プログラム

①【説明①】道内国立青少年教育施設のボランティア活動の実態

講師：国立大雪青少年交流の家職員、国立日高青少年自然の家職員

北海道内の国立青少年教育施設2施設で行われているボランティア活動について理解するために、参加者は両施設の職員からボランティアの活動状況について話を聞いた。

②【講義①】青少年教育施設の現状と運営

講師：国立大雪青少年交流の家職員

参加者は青少年教育施設の概要や設置目的等を理解するために、青少年教育施設の定義や施設の現状について講義を受けた。

③【講義②】ボランティア活動の意義

講師：国立日高青少年自然の家職員

今までに参加者が行ったボランティア活動を話し、お互いのボランティア活動に対するイメージを共有した。その後、道内で行われているボランティア活動の紹介やボランティア活動を行うとどんな面白さがあるかなどを動画から学んだ。

④【説明②】「法人ボランティア」制度について

講師：国立大雪青少年交流の家職員

国立青少年教育振興機構で行われている法人ボランティア制度について、全国の国立青少年教育施設で共通のカリキュラムがあることや旅費の支給があることなどの説明を聞き、理解を深めた。

◆事業運営・企画のポイント

- 野外教育や組織キャンプ等を授業で行っている大学のため、ボランティア共通カリキュラムの一部を読み換えることで、プログラムの日程を短縮した。
- 北海道内にある2つの国立青少年教育施設の職員が講師を行うことで、大雪と日高どちらのことも知ってもらう機会とした。

◆参加者の声

- ボランティアには興味はあったが、なかなかの機会がなかった。そのため今回のセミナーはとても良い機会であり、とても興味深い内容だった。
- 今回のセミナーでボランティアについて深く考えることができ、今後の活動に役立てられそうだ。

◆事業の成果

法人ボランティア共通カリキュラムを大学の授業で読み換えることで、従来のボランティア養成事業より短い日程で実施したが、参加者のボランティア活動への参加意欲を高めることができた。